第 59 回信託研究会　議事要録

日時：2022 年 12 月 17 日（土）10 時～12 時
場所：大屋事務所

出席者：今井、黒田、大屋（議事録作成者）。以下、敬称略

◆検討事項
１．中国における不動産登記実務について（黒田）
中国の不動産登記について、報告がなされた。
不動産に関する税制として、
（１）土地増値税（地方税）
土地使用権及び附着された物（建物など）の譲渡、資産価値増加部分の 30～60%（取引時に課税）
⇒内容が不明のため要調査
（２）契税（地方税）
土地使用権の譲渡、不動産の売買、3～5%（取引時に課税）
⇒日本でいうところの不動産取得税か
（３）土地使用税（地方税）
土地の利用、0.6～30 元／㎡（毎年課税）
（４）房産税（地方税）
① 取得原価×70×90%×1.2%（毎年課税）、②賃料×12%（毎年課税）
（５）増値税（共同税）
（６）所得税（共同税）
上記の内容の確認から以下の疑問がでてきた。
・中国の税制の基礎を確認する（中央税と地方税、共同税の言葉の使用方法など）。
・土地増殖税の内容
・同様のアメリカ制度
・日本の登録免許税の意義

２．今後の研究スケジュールについて（大屋）
令和 4 年度金沢星稜大学経済学部の紀要「論集」（第 56 巻第 2 号、提出期限令和 5 年 3 月 31 日）について、構成及び、担当を提示してみたい。

次回は、2023 年 1 月 21 日（土）10 時より金沢星稜大学大屋研究室
ホームページ：http://shintaku-k.opal.ne.jp/